

NYマーケットレポート(2012年9月10日)

昨夜のNY外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表もなく、取引材料に乏しい中、全体的に小動きの展開で始まりました。ドル/円は、12-13日に開かれるFOMCを前に様子見気分も強く、狭いレンジ内の展開が終盤まで続きました。一方、ユーロは、ECBの債務危機対策を好感した買いで一時上昇したものの、株価が下落に転じたことや、オランダ総選挙と独連邦憲法裁判所の判断への警戒感から、利益確定の売りが優勢となり、引けにかけて軟調な展開が続きました。ユーロは、主要16通貨の大半に対して下落となりました。また、豪ドルなどのクロス円も、午後は軟調な展開が続きました。

NY市場レポート

NY市場オープン

21:00

ドル/円 78.26 ユーロ/円 100.01 ユーロ/ドル 1.2780

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	5797.77	+2.97	ダウ INDEX FUTURE	13279	-17
仏 CAC40	3512.84	-6.21	S&P500 FUTURE	1435.50	-2.70
独 DAX	7214.98	+0.47	NASDAQ FUTURE	2818.25	-4.75

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月メキシコ総設備投資 2.7%(予想 3.7・前回 7.4%)

6月メキシコ貿易収支 -4億2690万MXN(前回 6億0160万MXN)
 前回発表の-4億2690万MXNから6億0160万MXNに修正

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表もなく、12-13日に予定されているFOMCの結果を見極めたいとの思惑もあり、全体的に様子見気分が強く、小動きの展開となった。

22:40

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	13281.25	-25.39
ナスダック	3130.20	-6.23

23:30

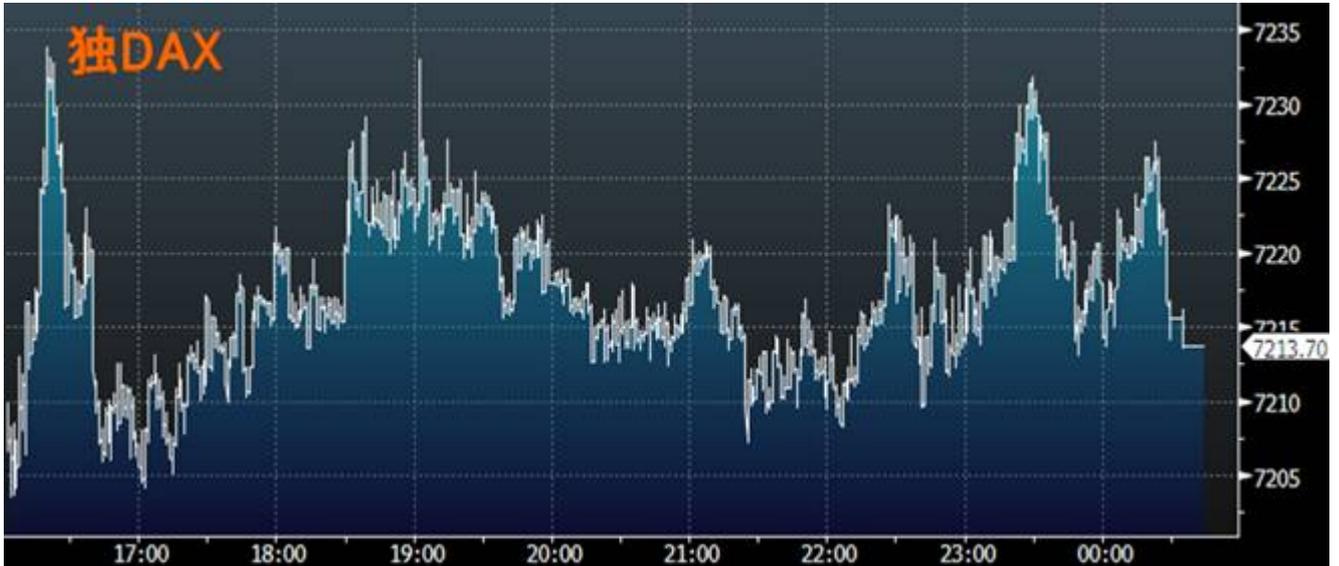
《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、主要な米経済指標の発表がない中、13日に予定されているFOMCの結果を見極めたいとして、積極的な売買が控えられ、方向感の乏しい展開となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5793.20	-1.60
仏 CAC40	3506.05	-13.00
独 DAX	7213.70	-0.80
ストック欧州 600 指数	271.69	-0.61
ユーロファースト 300 指数	1103.55	-3.17
スペイン IBEX35 指数	7857.70	-25.10
イタリア FTSE MIB 指数	16092.06	-18.21
南ア アフリカ全株指数	35524.90	-219.35

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、前週後半にかけて大幅上昇した反動で、利益確定の売りがやや出るなど、主要株価は軟調な動きとなった。ただ、ドイツ連邦憲法裁判所によるESM(欧州安定メカニズム)の合憲性判断や、FOMCを控えて様子見気分も強く、値動きは限定的だった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 債券市場 ・午前》

ニューヨーク債券市場は、11日から始まる今週の一連の米国債入札を控えて長期債を中心に持ち高調整の売りが出た。ただ、13日発表のFOMCの結果を見極めたいとの思惑も強く下げ幅は限定的だった。

午前の30年債利回りは、2.83%(前週末 2.83%)、10年債 1.67%(1.67%)、7年債 1.09%(1.09%)、5年債 0.64%(0.64%)、3年債 0.32%(0.33%)、2年債 0.25%(0.25%)。

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 13314.13(+7.49) 、S&P500 1437.31(-0.61) 、ナスダック 3125.75(-10.68)

1:10

フランスのモスコビシ財務相、13日にアテネ訪問

《ここまでの欧州のポイント》

①ギリシャのサマラス首相は、EU 欧州委員会と ECB、IMF のいわゆるトロイカの代表団と会談した。ストゥルナラス財務相はこの会談後に記者団に、ギリシャ政府はトロイカに対し、政府の歳出削減案が有効だと納得させるよう努めていると述べた。

連立与党の一翼を担う全ギリシャ社会主義運動 (PASOK) の幹部は、トロイカはギリシャが示した 115 億ユーロ (約 1 兆 1500 億 円) の歳出削減案のうち 20 億ユーロ余りに相当する措置に異議を唱えた と明らかにしていた。ストゥルナラス財務相によると、トロイカとの交渉は継続している

②ドイツ与党キリスト教社会同盟の議員は、ECB は先週に発表したユーロ圏諸国の国債購入を取りやめるべきだとする訴えを独憲法裁判所に起こした。議会の決定なく ECB が国債を買うことは、権限の不当な行使に当たるとしている。

同議員は「ECB は、議会の決定なしに無制限に国債を購入する。

それに伴う損失は、ユーロ圏加盟国、最終的には納税者が被る」と訴えている。ECB は 6 日、ユーロ圏債務 危機国の国債利回りを押し下げため、流通市場で国債を無制限に買い入れると発表した。

同議員は、欧州の債務危機対策に資金を提供する ESM (欧州安定機構) についても、議会の権限が十分でなく違憲だとする訴訟を憲法裁に起こしている。仮処分判断は 12 日に予定されているが、同議員は ECB の国債購入で ESM をめぐる状況が「完全に変わった」として、ESM 訴訟の判断を延期するよう求めている。ドイツは ESM 訴訟の判断が示されるまで関連法案を批准できない。憲法裁の判断が延期されれば、ESM の稼働は遅れることになる。

③EU 執行機関の欧州委員会は、12 日に発表するユーロ圏諸国の銀行監督一元化案で、銀行の免許剥奪や検査、制裁の権限を ECB に付与する方針を固めた。

ユーロ圏各国当局は ECB の業務遂行に必要な支援を提供する。欧州委の草案によると、ユーロ圏内での銀行免許の付与や剥奪は、今後は各国当局で決定せず、各国当局の提案に基づいて ECB が判断する仕組みに切り替える。このほか ECB は、各行の自己資本やリスク資産、流動性などの状況を把握し、ストレステストを実施。場合によっては個別行に立ち入り検査したり、制裁金を科したりする。ECB は一元監督を担当する専門の委員会を内部に設置。同委は ECB から 6 人、ユーロ圏 17 カ国から各 1 人の計 23 人で構成されるという。一元監督はユーロ圏の約 6000 の全ての銀行が対象で、2013 年から 14 年に書けて段階的に導入する。大手行に対する一元監督は 13 年 7 月の開始を目指す。

④EU 欧州委員会は、国家補助審査の観点から、スペインの銀行再建基金による大手バンクアに対する 45 億ユーロの資本注入を暫定承認したと発表した。欧州委は、バンクアのリストラ計画提出を待って、資本注入を 11 月に正式承認する見通し。

3:20

NY 金は、中心限月が前日比 8.70 ドル安の 1 オンス = 1731.80 ドルで取引を終了した。

4:00

◀ 経済指標の結果 ▶

7月米消費者信用残高 -32.76 億 USD(予想 92.00 億 USD・前回 118.23 億 USD)
 前回発表の 64.59 億 USD から 118.23 億 USD に修正



(出所:ブルームバーグ)

4:20

NY 原油は、中心限月が前日比 0.12ドル高の 1 バレル=96.54ドルで取引を終了した。

コモディティ	終 値	前日比
NY GOLD	1731.80	-8.70
NY 原油	96.54	+0.12

《 NY 金市場 》

NY金は、前週末までの相場上昇の反動で利益確定の売りが先行した。また、ドルがユーロなどに対し上昇したことも金売りの材料となり、3 営業日ぶりに反落した。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、中国の8月の貿易統計で原油輸入が落ち込んだことを受けて売りが先行した。しかし、その後はFRBが景気下支えのための追加金融緩和を実施するとの期待感で買い戻しが入ってプラス圏で引けた。終値ベースでは、小幅ながら4 営業日続伸となった。



(出所:ブルームバーグ)

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	13254.29	-52.35	13324.10	13251.39
S&P500 種	1429.08	-8.84	1438.74	1428.98
ナスダック	3104.02	-32.40	3133.89	3102.76

《米株式市場》

米株式市場は、主要な米経済指標の発表がない中、13日に予定されているFOMCの結果を見極めたいとして、積極的な売買が控えられ、主要株価は方向感の乏しい展開が続いた。ただ、終盤には一段の下落となった。ダウ平均株価は、序盤からマイナス圏での展開となったものの、その後はプラス圏まで値を戻す動きとなった。しかし、高値を警戒する動きから、FOMCを控え手ポジション調整の売りも見られ、終盤には一段の下げとなった。

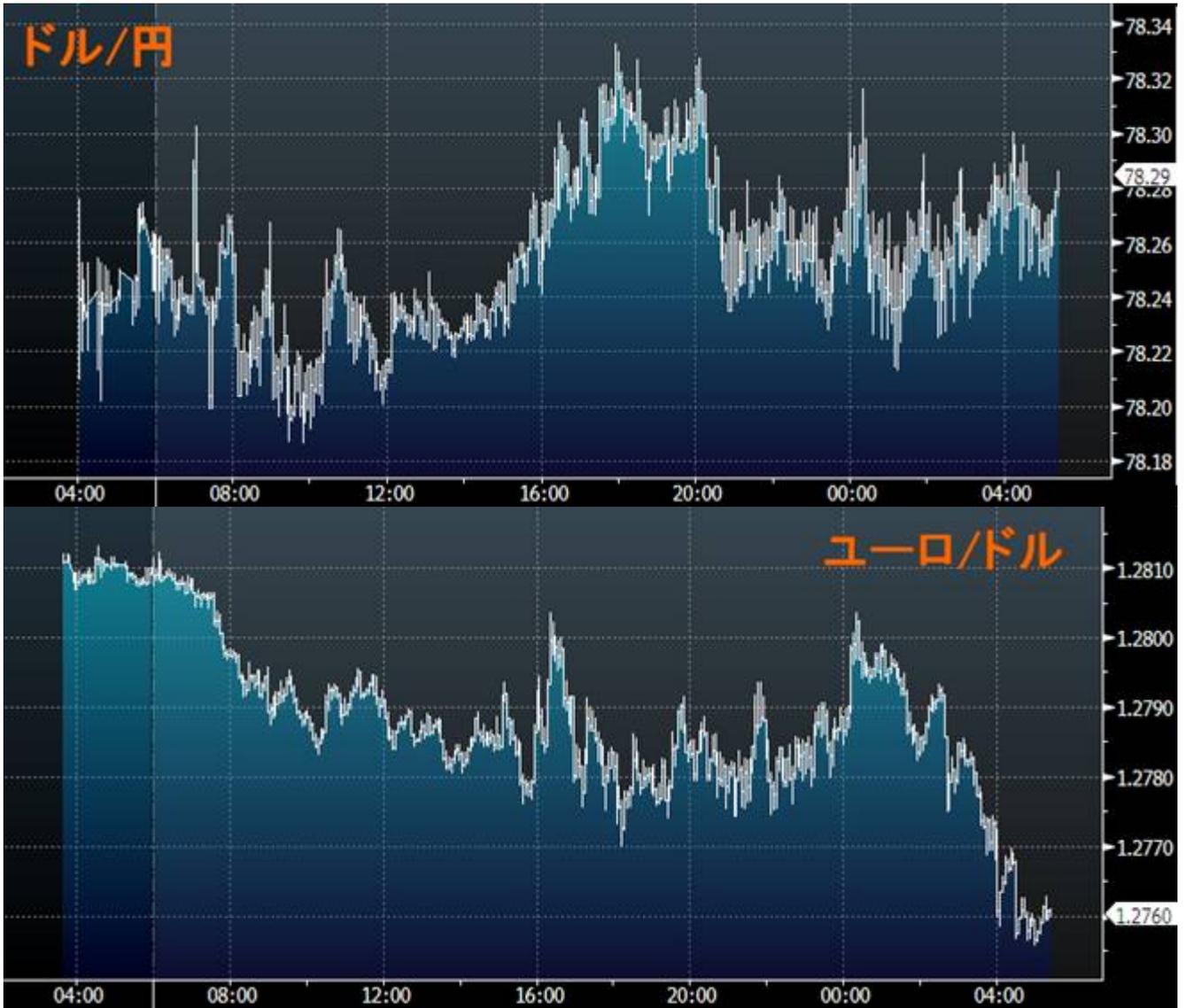


(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	78.30	78.32	78.24
EUR/JPY	99.91	100.22	99.83
GBP/JPY	125.22	125.40	124.92
AUD/JPY	80.92	81.17	80.88
NZD/JPY	63.33	63.54	63.28
EUR/USD	1.2762	1.2804	1.2757
AUD/USD	1.0335	1.0367	1.0333

《外国為替相場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表もなく、13日に予定されているFOMCやESMを巡るドイツ憲法裁判所の判決などを見極めたいとの動きもあり序盤から様子見気分が強まり小動きの展開が続いた。ただ、終盤には米国からの下げ幅が拡大したことから、円買いが優勢となり、クロス円は軟調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。